

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

新署名「これ以上、いのちを削らせない」に取り組みます!

これ以上、いのちを削らせない。

全ての世代に、負担増と給付の削減。

- 75歳以上の窓口負担を2割に**
75歳以上の高齢者が、窓口負担を2割に引き上げられた。高齢者の負担が増える。
- 子ども医療費助成の削減**
子ども医療費助成の削減が行われ、医療費負担が増える。
- 市県民健康保険料の増額**
市県民健康保険料が増額され、負担が増える。
- 生活費1,200円削減**
生活費1,200円削減が行われ、生活が苦しくなる。

「負担増」「給付削減」はSTOP!
安全・安心の医療・介護の実現を求める署名にご協力をお願いします。

東京社会保険推進協議会 (東京社保協) 1770-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 (東京労働会館6F) TEL: 03-5395-3165 FAX: 03-3946-6823

国の責任で お金の心配なく だれが必要な医療・介護を受けられるように

～負担増、給付削減を国民に強いる医療・介護・年金の改善中止を求める緊急署名～

医療局長 藤 野
福祉局長 藤 野

請願趣旨

憲法で保障された社会保障は国の責任で実施すべきです。国の責任で、いつでも、どこでも、誰もが
お金の心配なく必要な医療や介護、社会保障を受けられるようにしてください。

「国庫財源の減額」「国庫負担の削減」「国庫負担の削減による削減」「国庫負担の削減による削減」など、削減では必要な医療や介護が受けられず、医療や介護の受給が困難になるおそれがあります。

また一方で、高齢者や障害者に対する負担増や削減が行われ、高齢者や障害者の生活が苦しくなるおそれがあります。

また一方で、高齢者や障害者に対する負担増や削減が行われ、高齢者や障害者の生活が苦しくなるおそれがあります。

請願事項

1. 保険料や自己負担を増やす計画をやめて国庫負担を増やし、医療・介護の保険料と自己負担を引き下げてください。
2. 公的保険の給付やサービスを削減せず、すべての人に安全・安心の医療・介護を保障してください。
3. どこでも必要な医療や介護・福祉が受けられるように、入院・入所を制限せず、入院や介護・福祉施設を確保してください。
4. 医師・看護師・介護職員を増やして、医療・介護現場の労働条件の改善を図ってください。
5. 若い人も安心できる年金制度にしてください。
6. 国庫財源の削減計画を中止してください。

署名欄

氏名	ご住所

東京社会保険推進協議会 (東京社保協) 1770-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 (東京労働会館6F) TEL: 03-5395-3165 FAX: 03-3946-6823

東京社保協は、東京土建、東京地評、年金者組合都本部の4者連名の独自署名及びハガキ署名を作成しました。この署名は、1月20日から始まった第193通常国会に向けて取り組むものです。

地域社保協には、1月中旬に署名用紙とハガキ署名を送付しましたが、まずは社保協幹事会や役員会、加盟組織の機関会議等で署名を集めると共に、定例宣伝行動や集合住宅へのハガキ署名配布行動などで活用して下さい。

署名用紙やハガキ署名の追加については、注文用紙で申し込んで下さい。なお、地域社保協は無料、団体は1枚3円(署名用紙・ハガキ共)となります。

<署名表紙>

<署名記入欄>



第193通常国会開会 国会開会日行動

1月20日、総がかり行動実行委員会主催の第193通常国会「開会日」行動が開催され、600人を超える人が参加しました。

主催者を代表してあいさつした実行委員会の福山さんは、「国民の多数は、アベノミクスを支持しているわけではない。今年こそ安倍政権打倒へ力をあわせよう」と力強くあいさつしました。

国会議員も、民進党の福山哲郎、日本共産党の井上哲士、社民党の福島瑞穂、沖縄の風の伊波洋一、各参議院議員、自由党の玉城デニー衆議院議員がかけつけ、ともにたたかう決意を述べました。

連帯あいさつでは、海渡雄一弁護士が今通常国会に提出されようとしている「共謀罪法案」について報告し、「共謀罪法案」は、「安倍政権が監視社会化を強め、人々を委縮させ、民主主義を窒息させるもので、「平成の治安維持法」といえるもので、国会に提出させない世論と運動を広めようと訴えました。

今後の国会行動ですが、毎月第1・第3水曜日の12時15分から衆議院第2議員会館前で定例国会行動を行います。

また、緊急署名提出・議員要請行動を、2月8日(15時20分から)と2月22日(11時から13時)に衆議院第2議員会館にて実施します。

また、緊急署名提出・議員要請行動を、2月8日(15時20分から)と2月22日(11時から13時)に衆議院第2議員会館にて実施します。

各地域・団体の取り組み

北区社保協

北区社保協は、昨年12月27日に「なんでも相談会事例報告集」を開催し19人が参加しました。

北区社保協の「なんでも相談実行委員会」が主催する「相談会」は、開始から2年半が経過しのべ16回を迎えています。協力参加団体からのべ333人が参加し、相談に訪れた方は合計141人に達します。

相談内容は、医療・介護・社会保障関係が約半数を占め、その内30件が生活保護、年金、国



保、障害者の相談でした。

集会では、これまでの困難事例から、要介護5の親の面倒を見る娘に対する兄弟からの家庭内暴力。家族にうつ病、家計を支える長男が失業、70前の清掃パート労働の母が唯一の収入源でその母も年齢制限でリタイアになることの相談、王子生協病院から、相談に来た方の友人が王子生協病院に偶然入院していることに気づき、同じ施設に入れることができた救済事例、などが報告されました。

参加した看護師からは、「実際に苦しい胸の内を相談できない実態を知った」。毎回参加している北区労連からは、「相談会ののぼりを見て、まだやってみますかと泣きそうな顔をして相談に来た女性」の事例が紹介されました。また、会場からは「一人ではできないこと、地域で活動を広げて行きたい」の声も聞かれるなど貴重な交流会となりました。

閉会のあいさつに立った北区社保協の小川会長が、「相談に乗ることで私たちも成長する。引き続き運動を広げよう」とまとめました。

(事務局長 森松 伸治)

渋谷社保協

渋谷社保協は昨年12月21日、2016年最後の「なんでも相談会」を渋谷駅西口モヤイ像前で開催し、7団体12人の参加がありました。

当日は、12月とは思えない暖かさの中で5件の相談が寄せられ、その内4件は法律に関する相談で、代々木法律事務所三浦祐哉弁護士は大忙しでした。

法律相談は、「勝手に遺産分割書にサインさせられた」という遺産相続をめぐる相談、離婚に際しての土地・家屋などの財



産分与に関するもの、家族間の金銭トラブル、賃金支払先の確認などでした。

法律に関すること以外では、年金で一人暮らしの80代の女性が、「健康食品販売で110万円の詐欺にあった」という相談で、きっかけは「サンプル」で誘われたようです。

相談者からは、「こういう相談は他にどこでやっているの」「こんどは何時やるのか」などの問い合わせもあり、気軽に相談できる所を求められているようです。

(渋谷社保協ニュースより)



中野社保協

中野なんでも相談実行委員会は、昨年の年末12月21日と今年初めての1月25日に通算72・73回目の「なんでも相談会」を中野駅北口広場で開催し、年末は12件、1月は8件の相談がありました。

相談内容は、「職場でひどいことを言われショックを受けた、動悸が出るようになった」60代男性「パワハラを受けているが労災が適用されない。強く言えない立場であり失職の可能性もある」60代男性「上司からのパワハラを受けていて、会社を休む時に上司に言いづらい、メールで個人攻撃をされている」40代男性「などパワハラ相談が



多く寄せられ、その他遺産相続や臨時給付金についての中野区役所の対応についての不満や年金支給要件や借金問題などの相談が寄せられました。(実行委員会ニュースより)

介護をよくする東京の会

介護をよくする東京の会は、1月22日に日本医療労働会館で2016年度総会と学習会を開催し、各団体地域から46人が参加しました。

総会の前段で学習会を開催し、林泰則・全日本民医連事務局次長から「介護保険の見直しをめぐる情勢と今後の課題」と題して、政府が推進する介護保険制度改革のポイントと2017年改革の内容、想定される「改正」スケジュールなどについて多彩な資料に基づき丁寧な報告されました。

また、安達智則・東京自治問題研究所主任研究員から、「小池都政は、高齢者ファーストの介護を実現できるか」と題して、小池都政の社会保障政策の分析と、新たに豊島区で国家戦略特区により開始される「混合介護」の内容と問題点などについて報告されました。

引き続き行われた総会では、2016年度の取り組みのまとめと2017年度方針を報告し、今年4月から全自治体で開始される「新総合事業」の実施状況などについて自治体アンケートを行い、「現行サービス」の確保をめざす取り組みに活かして行くことや国や東京都・自治体に対する運動の強化などを確認して総会を終了しました。



「社会保障」誌の購読を

「資料と解説」が豊富で、激動する情勢や社会保障制度がよくわかる！役に立つ！
学習や運動にぜひご購読を

- 定期購読（年6回）
3000円（送料別）
1部500円（送料別）
- 申込みは東京社保協へ
TEL03-5395-3165
FAX03-3946-6823
*ホームページからも注文できます



社会保障の改善を訴える宣伝行動

1月24日、中央社保協は消費税廃止各界連絡会と共同で宣伝・署名行動を新宿駅西口で行いました。中央社保協からあいさつに立った岩橋祐治代表委員は、「国民に大増税と社会保障の連続改善を押し付け、格差と貧困を広げた安倍政権を退陣に追い込みましょう」と呼びかけました。

保団連として訴えに立った住江憲勇会長は、貧困によって受診をためらったり、治療を中断する実態があること。「生活と健康を守るために、更なる消費税増税や社会保障の改善は断じて許せない」と訴えました。

今後の署名宣伝行動は、巣鴨駅前で2月14日、3月14日（いずれも12時～13時）に実施する予定です。



東京社保協第47回総会

日時 3月30日(木)10時開会

会場 けんせつプラザ東京

講演 芝田 英昭 立教大学教授

- 出席数 各団体・地域社保協 2人
- 昼食は弁当を準備します
- 講演(午前)のみの参加も可能です

介護保険「見直し」反対院内集会

日時 2月22日(水)11:30~13:30

会場 衆議院第二議員会館 第1会議室

主催：中央社保協・全日本民医連

無料 国保・医療なんでも電話相談会
～ 滞納・差押え110番 ～

2017年 2月26日 (日) 午前10時～午後5時

0120-110-458

医師、看護師、弁護士、ケースワーカーなど 窓口負担心配で病院いけない
専門家が相談にお答えします

国保料や窓口負担の免除、減額など負担軽減が出来る場合が、無料相談です。まず、無料相談ください。

年金が差押えされた どうしたらいい?

年金減ったのに なんで国保料上がるんだ!

窓口負担心配で 病院いけない

国民健康保険加入のみなさん 国保料(税)が高くて困っている、差押えをされそうだ、など相談はお気軽に

主催：「国保・医療なんでも相談会～滞納・差押え110番」実行委員会
自由法曹団東京支部、東京保険医協会、東京民医連、東京地評、東京医労連、東京土建、東商連、都生連、東京自治労連、東京社保協

連絡先 東京社保協 Ta.03(5395)3165 fax03(3946)6823 東京社保協検索